

## ISCA カナダレディースプログラムに参加して

今回の開催地ビクトリア市（カナダ）はバンクーバー市から飛行機で 25 分の所がありました。最初に驚いたのはビクトリアにあるカナダ海軍施設の広さでした。施設は広範囲にあり、その中に我々が宿泊した軍関係のホテルもありました。そして海軍施設の近郊には 3,000 人の軍関係者が住んでいました。子供達の国際交流もこの近くの施設を使用するようで、充実した施設や環境を利用できるなんて日本じゃ考えられないなあと思いました。

今回のレディースでは香港、フランスの御夫人が初めて参加され、又病気から回復されたドイツの御夫人も参加となり、元気で再会できた喜びで大いに盛り上がりました。

さらに今回は、初めてレディースが 30 分ほど会議の冒頭を見学させて頂きました。今年は草刈会長も出席され安心感のある日本人代表団席でありました。



レディースプログラム参加者(橋川さんは左から 4 人目)

その後最初に訪問したのは、ブッチャートガーデンでした。この庭園はセメント経営者夫人のブッチャート夫人の庭園だったのが、100 年の時を越えビクトリアを代表する庭園となったそうです。ここで有名なのが日本庭園でした。日本人の庭園アドバイザーと共に造られた庭園は、日本そのもので自然の美と静寂さから心が落ち着くことを各国の御夫人方は口々に話していました。このカナダの庭園で日本の美に出会えた喜びは、日本人として誇りを感じました。

次に訪問したのはビクトリア博物館でした。それぞれが 2, 3 人ずつに分かれ、私はスウェーデンのアニタと見学して回りました。先ずそこで驚いたのは、カナディアンインディアンが当時使用していた装飾品、鉄製品、生活用品、衣類等々の精巧さでした。その細工の細やかさや芸術的な美しさは日本人の器用さに匹敵するほどで、生活文化の高さや生活の安定さを感じました。又写真に写っていた住居の壁には驚きました。それは、ひと昔前の日本の家で使われていた竹と藁と泥の壁で日本の家そのものでした。どれを見ても当時の技術の高さに感心させられ時間を忘れるほどでした。そして今回カナダで出会った多くの人達のおもてなしの心や親切な対応は、我々日本人に似た人柄を感じました。ひょっとしたらカナディアンインディアンと我々日本人のルーツは同じなのではと想像してしまいました。